

## 第4節 高松平野における井戸枠の変遷

### 1. はじめに

遺跡検出の井戸についての研究は、宇野 1982・岩本 1996 などに代表されるが、香川県内の中世・近世の井戸を対象とした研究は行われていない。近年、高松平野における中世・近世遺跡の発掘調査が増加し、資料が増加したこともあって、井戸枠の時期的な変遷を捉えることが可能となった。

本節では、高松平野の井戸枠の変遷を明らかにし、それぞれの画期とその背景について触れ、結物井側の導入時期から浜ノ町遺跡の特徴について述べようとするものである。

### 2. 井戸枠の分類

井戸の各部の名称は草戸千軒町遺跡（岩本 1996）に従う。井戸の分類は井側の構造と井筒の有無を中心に行うこととする。井側については、古代以来の主要構成材である木枠の有無を中心に分類を行い、詳細な類型を設定する際に井筒の有無を反映することとする。

#### 1 類

古代以来の井側である木枠をもつものである。木枠については更に詳細な分類が可能であるが、ここでは大枠として「木枠」としておく。

1 a 類 木枠＋曲物（井筒）

1 b 類 石組＋木枠＋曲物（井筒）

1 c 類 石組＋木枠

#### 2 類

2 類は木枠がないもの。ただし、井戸廃絶に際しては、井側は抜き取るのが通常であったと考えられるため、本来は 1 類であったものも含まれている可能性がある。

2 a 類 曲物（井筒）のみ

2 b 類 石組＋曲物（井筒）

2 c 類 石組のみ

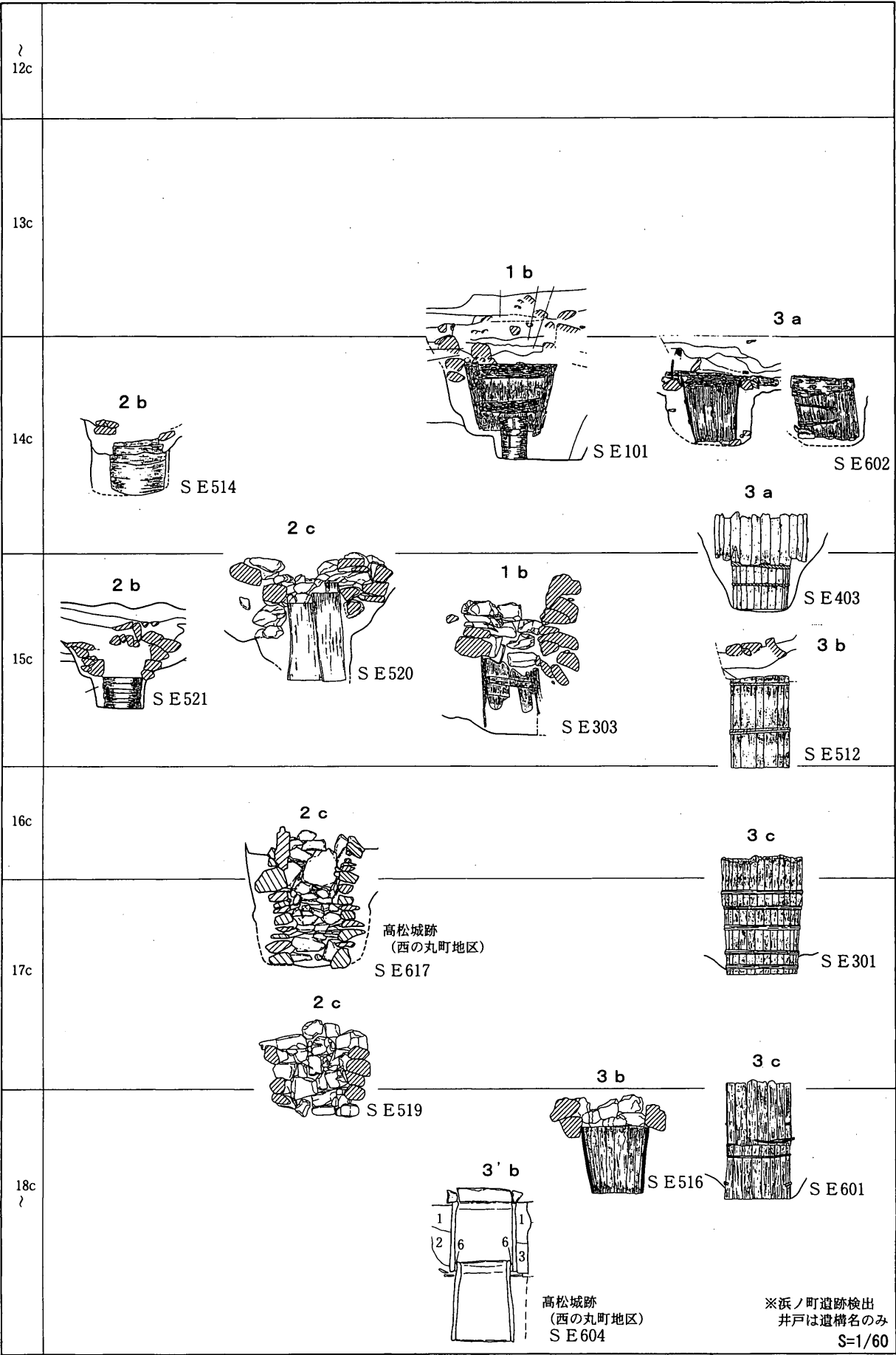
#### 3 類

結物を井側とするもの。

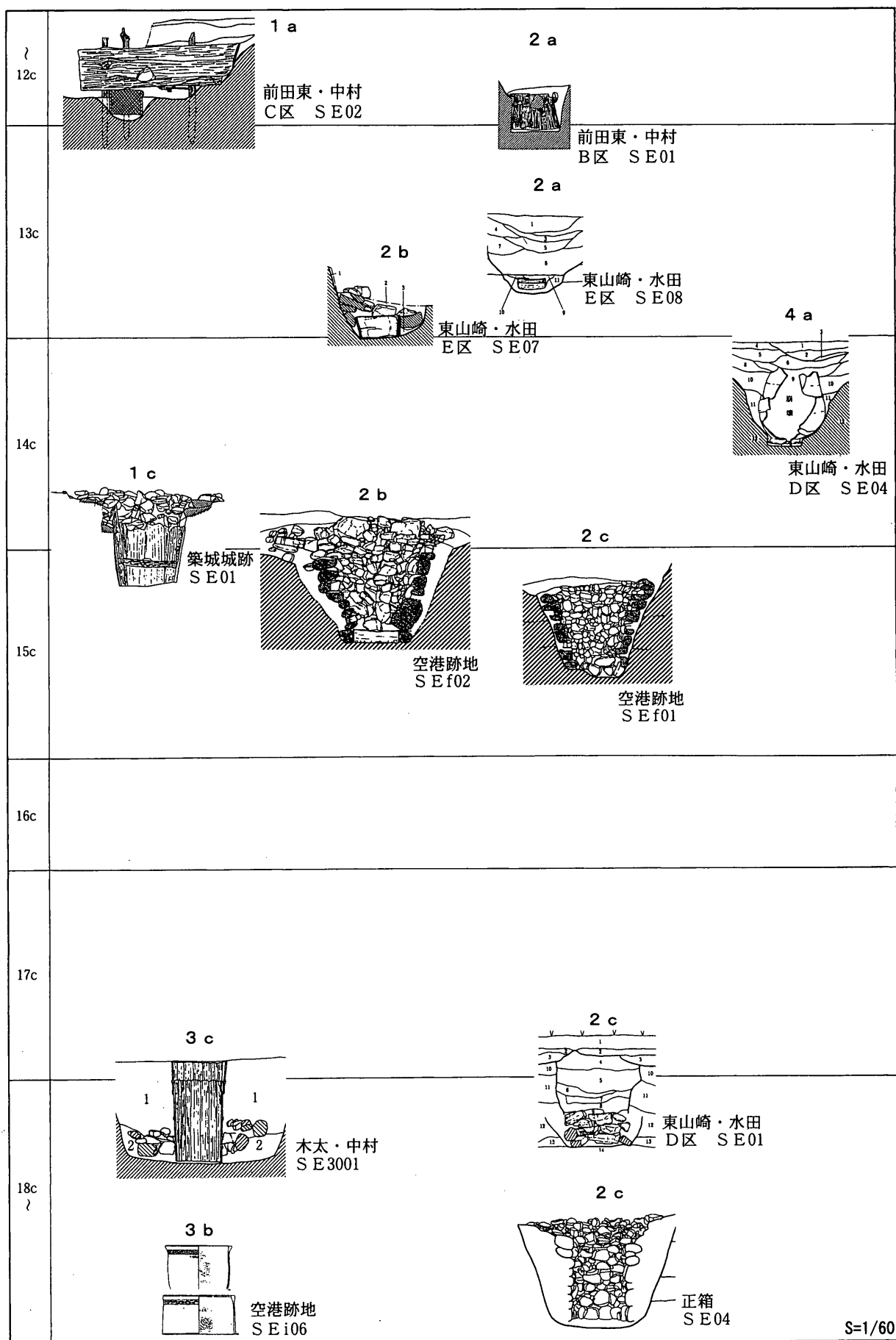
3 a 類 木枠＋結物

3 b 類 石組＋結物

3 c 類 結物＋結物



第256図 浜ノ町遺跡、高松城跡井戸変遷図



S=1/60

第257図 高松平野井戸変遷図

### 3' 類

結物を模倣したと考えられる土師質土器を井側とするもの。口縁部には、明らかにたがを意識した網目状の文様が施されている。

3' a 類 土師質土器＋結物

3' b 類 土師質土器＋土師質土器

### 4 類

3' 類以外のやきものを使用（転用）した井側。

4 a 類 備前大甕

## 3. 井戸枠の変遷と画期

第 256・257 図には、共伴遺物を手がかりとした井戸枠の変遷を示した。井戸枠変遷の画期は以下のとおりである。

- ① 13 世紀後半：石組井側の出現
- ② 14 世紀前葉：結物井側（3 類）の出現（浜ノ町遺跡のみ）
- ③ 15 世紀中葉：曲物（井筒）の消滅
- ④ 15 世紀中葉～後半：木枠井側（1 類）の消滅
- ⑤ 17 世紀後半：高松城下における結物井側の普及
- ⑥ 19 世紀中葉：結物を模倣した土師質土器井側（3' 類）の出現

このうち特に重要なのは、結物井側に関連する ② 14 世紀前葉に結物井側の受容が浜ノ町遺跡でのみ見られる、⑤結物井側が高松城下を中心に普及する、⑥結物模倣の土師質土器井側が出現し、城下・農村を問わず使用される 3 つ画期である。

## 4. 結物の受容

2. で述べた画期②は、結物井側を早い段階での受容した浜ノ町遺跡の特徴を示すものである。中世の円筒形木製容器である桶・樽には、曲物・結物・刳物の 3 種類があり、古代以来曲物是中・小型容器として、刳物は大・中型容器として使用されていた。11 世紀後半に中国からもたらされたとされる結物は、11 世紀後半～12 世紀に博多を中心とする中国人居留地で使用され、13～14 世紀になって全国各地に波及し、刳物に替わってその役割を担った。その後、15～16 世紀になると、結物製作技術の確立により、大・中・小型すべての寸法において結物の普及が進んだ（鈴木 2002）。遺跡で検出される井戸枠には、曲物・刳物・結物が用いられている例が多く、木製容器の使用状況を反映しているとすれば、高松平野では、浜ノ町集落が他集落に先駆けて容器としての結物を受容した可能性が高い。

また、全国的にみても結物受容の早い段階に属する浜ノ町遺跡 S E 602 ついては、上端部のたが

が、竹を編んだものではなく曲物が使用されている。これは、上端部のたがが破損した際、本集落では竹製のたがを編む技術（＝結物製作技術）を有しておらず、曲物という従来の技術によって補修されたものと考えられ、結物が搬入品であることを示す事例といえよう。

## 5. 近世における結物井側の使用状況

近世初頭段階、浜ノ町遺跡を含む高松城下でも結物井側が若干認められるが、主体は井側が石組のみで構成される2c類である。結物井側は18世紀前半になって城下と一部の遺跡（木太・中村遺跡）で普及するが、農村部では認められない。19世紀中葉に結物模倣の3'類が出現すると、それまで結物を使用していなかった農村部でも石組のみ（2c類）・素掘りの井戸にとって変わるようになる。ここには結物井側に対する特別な意識を読み取ることができるのではないだろうか。